

2019 年度環境レポート



yamato

大和電機工業株式会社



信頼 信用

当社は、お客様及び社会から“信頼・信用を得る”ことを経営理念の根幹として、顧客満足の向上を図り、環境に配慮した事業活動を推進することで地球環境の保全と地域社会との共存を目指して活動を進めております。

これまでお客様を含めた多くのお取引先様や地域社会の皆様からお支え戴いて今日まで企業運営を継続することが出来ました。これからも皆様から愛され、必要とされる企業を目指し、信頼・信用を戴けるパートナーとして認められるよう貢献していきたいと考えております。

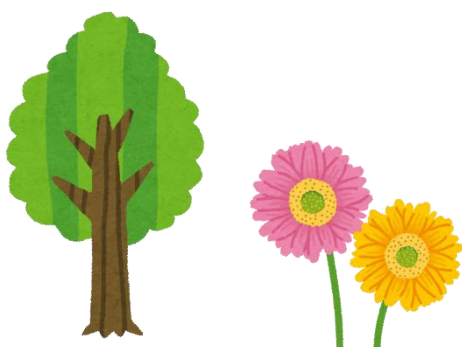
そのためには、顕在・潜在する課題を、ものづくり技術をベースに解決し、企業の社会的責任（CSR）に取り組む中で、社員一人ひとりがムリ・ムラ・ムダな作業はないか、環境負荷を与えている活動はないか等を検証し、速やかに改善策を具体化し、具現化していく中でお客様や社会が求める以上の結果を出して、信頼を得られるように全社員一丸となって改善活動を推進し、サステナビリティな社会づくりへの貢献を目指して活動してまいります。

地球環境保全

私たちはこれまでも、地域の環境保護活動や環境管理活動を通じて環境保全活動に積極的に取り組みてまいりました。2017年度に策定された2019年度までの中長期計画の環境目標の達成活動を通じて、省エネ活動や廃棄物削減に取り組みし、その結果として温暖化防止に努めてまいりました。当社の環境側面に関して適用される法的要求事項やお客様からの要求事項を順守し、業務に関するリスクを具体的にし、環境負荷低減目標を具現化するために技術的・経済的に可能な範囲で継続的に環境に配慮した改善活動を推進して、汚染の予防と危機管理・安全管理に努め、結果として生物多様性保全に向けた取り組みを行います。

この活動の結果は、環境レポートとしてホームページに掲載して公表します。

大和電機工業株式会社
代表取締役社長 原 房利



対象組織

この環境レポートは、大和電機工業株式会社の4サイト全体を対象としています。

本社サイト……………長野県諏訪郡下諏訪町東四王 5197 番地

諏訪サイト……………長野県諏訪市中洲 4750 番地

松本サイト……………長野県松本市今井 7066 の3番地

下諏訪サイト……………長野県諏訪郡下諏訪町北四王 5183 番地

対象期間

2019 年度(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日)の環境に関する取り組みや成果を記載しています。

発行情報

発行日 2020 年 6 月 (前回発行 2019 年 6 月)

編集方針

このレポートは、持続可能な社会の実現に貢献するために当社が取り組む姿勢・活動を、さまざまなステークホルダーの方々にわかりやすくご理解いただくことを目的に発行しています。

このレポートは Web で効果的な情報提供を目指しています。

インターネット URL <http://www.yamato-elec.co.jp>

データの集計範囲

この環境レポートは、大和電機工業株式会社の4サイト全体のエネルギー使用量、廃棄物排出量等の実績等の環境負荷低減活動結果を対象としています。

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン 2018 年版」

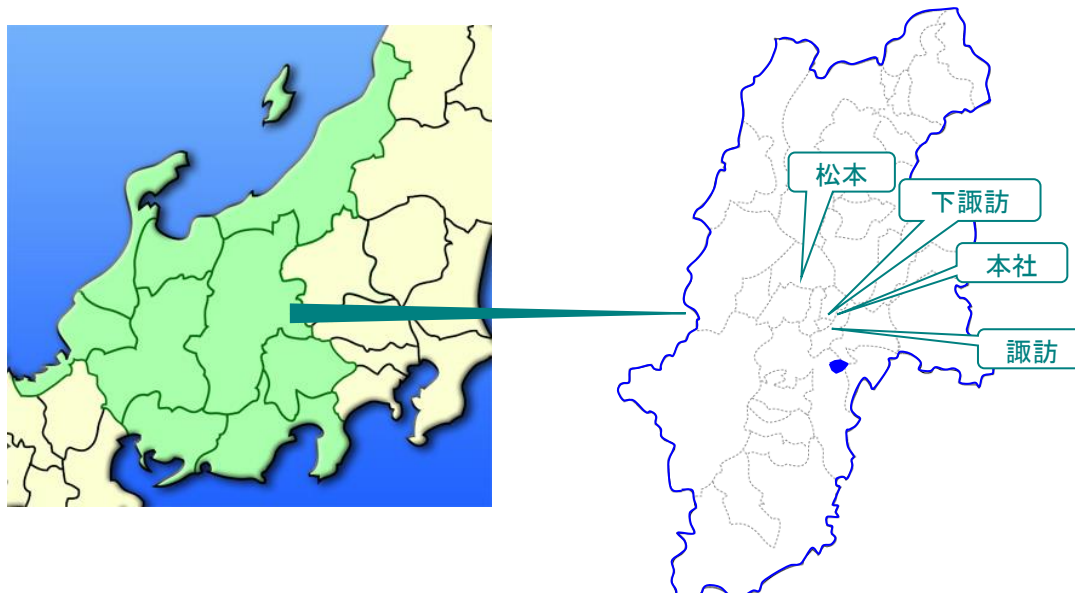
会社概要

会社名	大和電機工業株式会社
本社所在地	〒393-0043 長野県諏訪郡下諏訪町東四王 5197 番地
会社創立	1944 年 4 月 27 日
資本金	9000 万円
事業内容	電子部品・電子基板・電子材料への機能めっき加工 クリーン環境での電子部品検査 F A 省力化設備の設計及び製造 機械加工機による加工部品製造販売

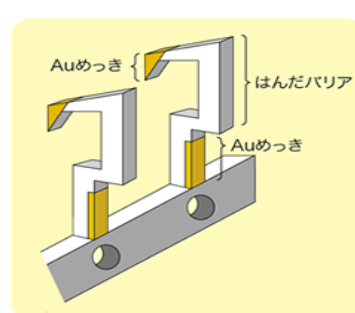
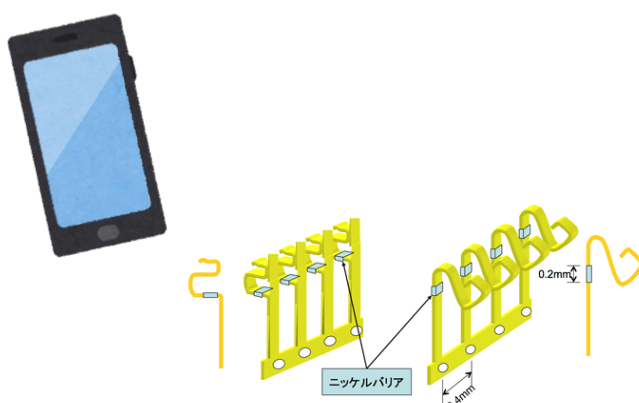
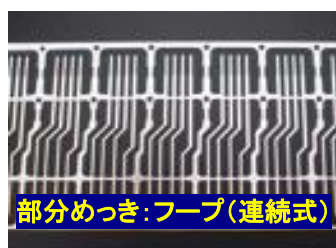
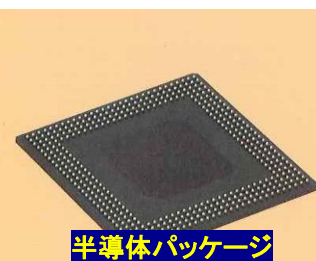
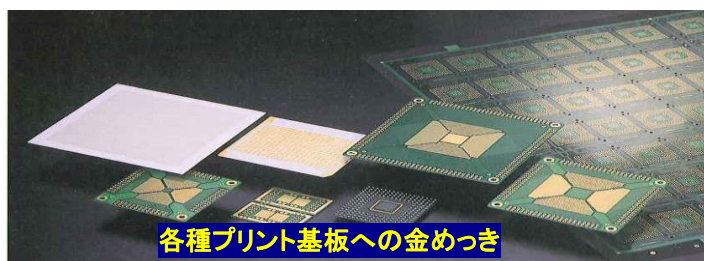


事業所所在地

諏訪事業所	〒392-0015	長野県諏訪市中洲 4750 番地
松本事業所	〒390-1131	長野県松本市今井 7066 の 3 番地
下諏訪事業部	〒393-0042	長野県諏訪郡下諏訪町北四王 5183 番地
工機事業部	〒393-0043	長野県諏訪郡下諏訪町東四王 5451 番地



主な取扱い製品



微細コネクタ用金めっき

法令順守

当社はCSRを基本として、「社会から信頼・信用される企業」を目指して、事業に関する法的要求事項やお客様を含めたステークホルダーからの要求事項を把握し、ISO14001の環境マネジメントシステムを運用して順守しています。

当社に適用される法的要求事項等の各種届出や報告は適切に実施しており、その順守状況は、年1回の順守義務の定期評価で確認しており、重大な不順守事項は発生しておりません。

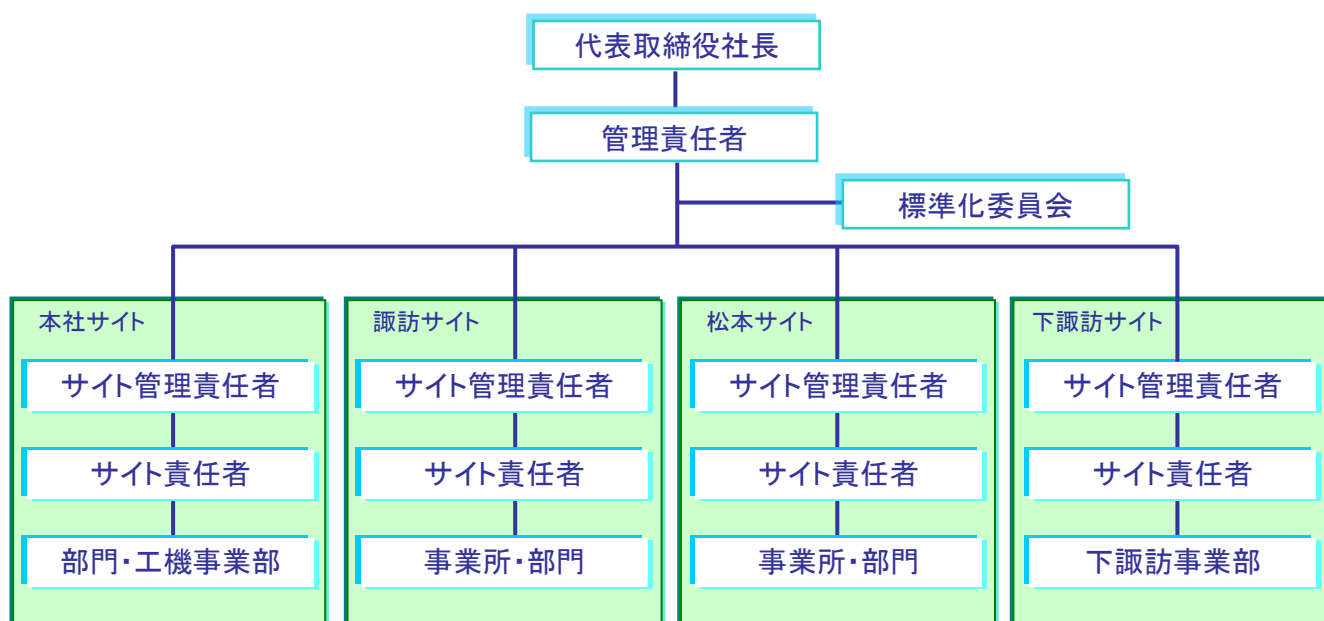


環境配慮経営

当社は環境保全を最重要事項の一つと位置付け、環境管理活動を通じて社会、お客様に貢献し、地球環境の保全への寄与を基本に経営に取り組んでいます。

環境管理推進組織

当社は管理責任者の下に4つのサイトで環境管理活動を行い、環境改善に取り組んでいます。



環境活動報告 2019 年度

当社は 2000 年に ISO14001 の環境マネジメントシステムを構築以来、法令・規制、顧客や地域社会、加盟団体等からの要求事項を順守し、環境管理活動を継続して実行しています。

環境管理活動の実績(KPI)

2019 年度は、2017 年度に策定された中長期計画(3ヵ年)の環境目標を設定して取組みしてきました。活動の結果、重油の消費、腐食性廃酸の排出において、個別サイトでの目標未達成の影響を受け全社で目標を達成することができませんでした。

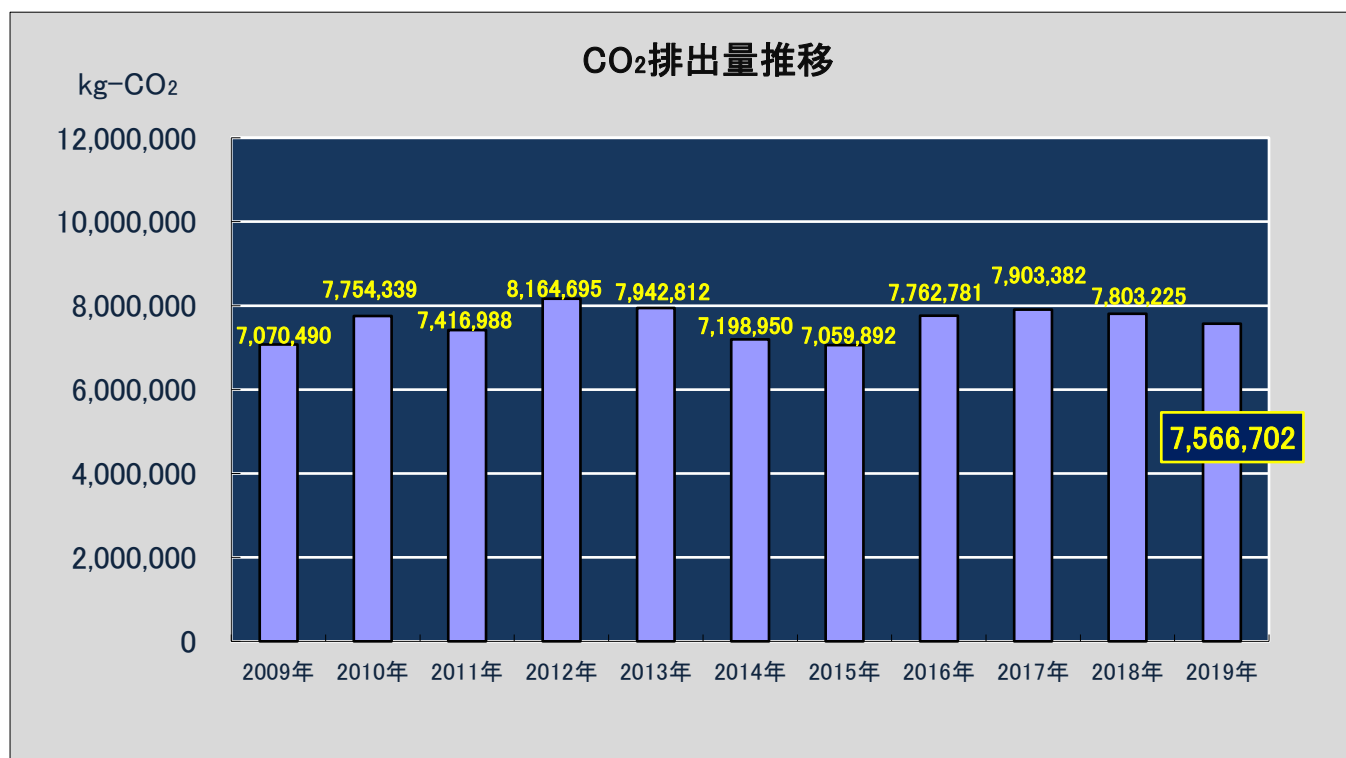
2020 年度も全項目の目標達成に向けて活動を展開していきます。

環境側面	2019 年度目標	2019 年度実績	達成状況	2020 年度目標
電気の使用	507.48	469.03	○	1.247
重油の消費	63.28	65.18	×	0.128
都市ガスの消費	65.19	62.88	○	0.121
腐食性廃酸の排出(特管)	4.98	8.67	×	—

※KPI＝使用量÷稼働時間（2019 年度）

2020 年度より KPI 算出方法を
使用量÷売上金額に変更しました。

CO₂ 排出量推移



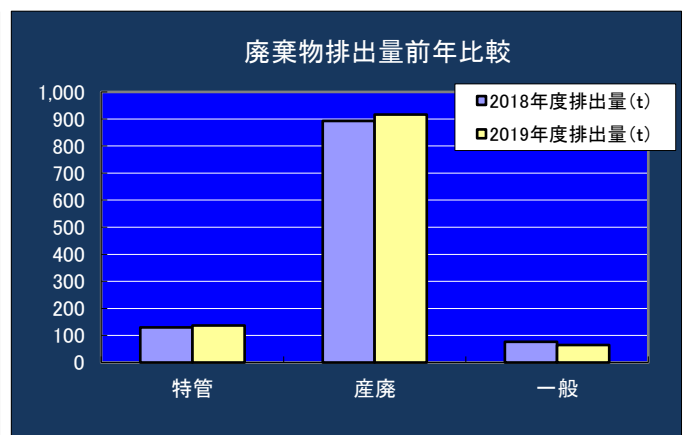
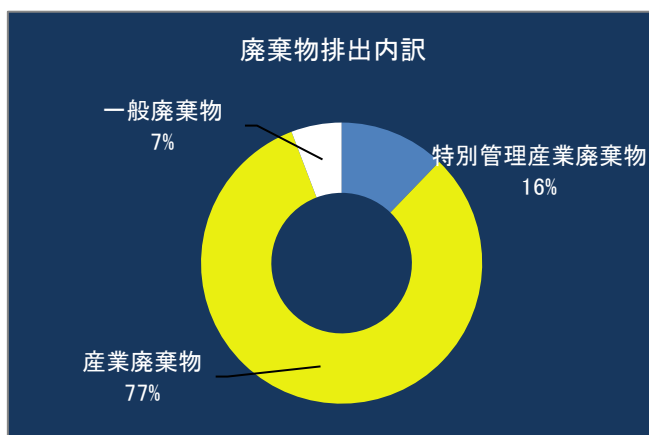
2019 年度エネルギー使用量実績

エネルギーの種類	単位	2019 年度使用量	2018 年度使用量	使用量差
電気	kWh	10,443,969	10,595,593	-151,624
都市ガス	m ³	510,598	514,212	-3,614
重油	L	491,757	513,307	-21,550
揮発油(ガソリン)	L	520	656	-136
軽油	L	21,182	20,648	+534
灯油	L	3,560	4,509	-949
液化石油ガス(LPG)	kg	4,897	5,302	-405

原 単 位(稼働時間)				
エネルギーの種類	単位	2019 年度使用量	2018 年度使用量	使用量差
電気	kWh	467,119.25	445,847.70	-21,271.55
都市ガス	m ³	22,837.12	21,637.32	-1,199.80
A重油	L	21,994.43	21,599.24	-395.19
揮発油(ガソリン)	L	23.26	27.60	+4.34
軽油	L	947.38	868.83	-78.55
灯油	L	159.24	189.74	+30.50
液化石油ガス(LPG)	kg	219.03	223.12	+4.09

2019 年度 廃棄物排出実績

廃棄物区分	2019 年度排出量(kg)	2018 年度排出量(kg)	差
特別管理産業廃棄物	136,364	130,204	+6,160
産業廃棄物	915,864	892,503	+23,361
一般廃棄物	64,795	76,006	-11,211
総排出量	1,117,023	1,098,713	+18,310



主なエネルギー資源の使用量の削減活動

当社では、サイト毎に環境実行計画書を作成し、電気、重油、都市ガス使用量削減に取り組んでいます。

LED照明



夏季節電対策



主な産業廃棄物の排出削減

当社では、循環型社会形成の推進のために3R(Reduce、Reuse、Recycle)活動を展開し、廃棄物の削減や資源の有効利用に取り組んでいます。

主な活動としては、使用薬品の長寿命化による腐食性廃酸の削減、適正分別・リサイクル化の推進による廃プラスチック類、金属屑の削減に取り組んでまいりました。

生物多様性の保全

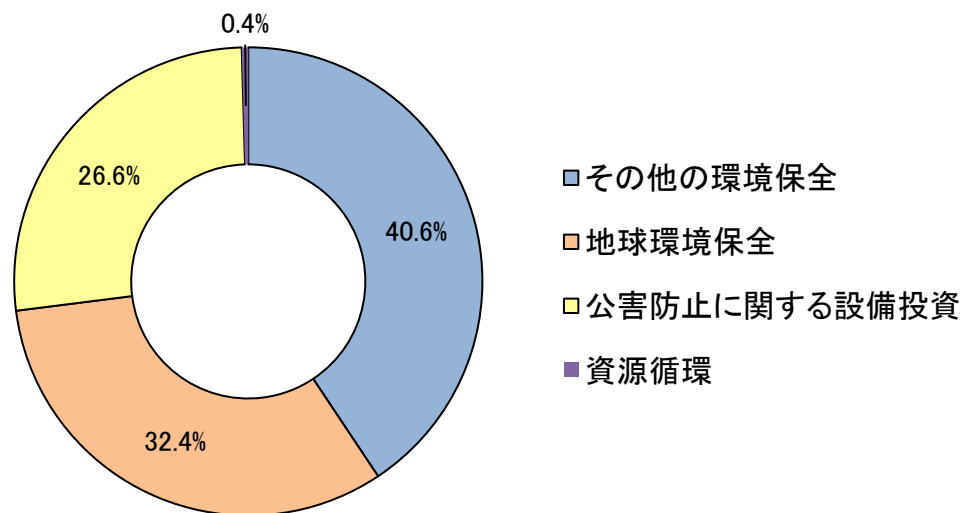
当社は環境保全のための取り組みとして2002年から2006年まで毎年諏訪湖の外来魚対策の協力金を寄付し、ブラックバスやブルーギルの駆除費に活用していただきました。現在は、このような助成は行っておりませんが、環境管理活動の結果として二酸化炭素等の温室効果ガスの排出削減に努めて生物多様性の保全に努めてまいります。

環境への投資

当社は環境保全及び環境改善のための投資を行い、環境負荷の低減に努めています。

環境投資項目	投資金額(円)	投資割合
その他の環境保全	32,234,849	40.6%
地球環境保全	25,656,428	32.4%
公害防止に関する設備投資	21,056,140	26.6%
資源循環	355,884	0.4%
合計	79,303,301	100%

2019年度 環境投資金額 内訳



地域社会への貢献

当社は会社敷地内の植栽及び地域貢献として諏訪湖畔清掃、工業団地清掃、県道美化清掃への参加、使用済みインクカートリッジを回収し小学校への寄付などを行なっています。また、高等学校等でのめっき技術講習会などの講師として地域に貢献しています。



化学物質の管理

化学物質の管理は法規制及びお客様から種々な要求事項があります。当社は、これらの要求事項に 対応するために購入する化学物質を管理し、適正な使用を行なっています。

「化学物質排出把握管理促進法」に基づき、排出量の集計データを適切に報告しています。また、お客様から製品含有化学物質情報要求がある場合は、「chemSHERPA」(ケムシェルパ)の情報伝達スキームを活用しております。

表面処理皮膜の管理においては、その皮膜表面の状態はもちろん、薬品の成分、工程環境測定、廃液管理など高度な化学分析及び科学的な解析が必要です。当社ではこれらに用いる各種分析・解析機器を所有し正確、且つ敏速な分析・解析管理を行っています。

当社所有の主な分析・解析装置		
解 析 ・ 測 定	集束イオンビーム断面加工観察装置(FIB)	ハイテクサイエンス製SMI3050
	走査型電子顕微鏡(SEM)	日本電子製JSM-6610LV
	エネルギー分散型X線分析装置(EDS)	オックスフォード社製X-Max20(EDS) * SEMに付属
	電界放射型走査電子顕微鏡(FE-SEM)	日立ハイテクノロジーズ製SU-70
	エネルギー分散型X線分析装置(EDS) * FE=SEMに付属	オックスフォード社製X-act
	イオンミリング装置	日立ハイテクノロジーズ製E-3500
	リフローシミュレーター	マルコム社製SRS-1C
	フーリエ変換型赤外分光光度計(FT-IR)	VARIAN製3100-600UMA
	蛍光X線装置	日立ハイテクサイエンス製
	セミオートワイヤーボンディング装置	ウエストボンド社製MODEL454647E TPTジャパン製HB16
	ワイヤープルテスター	RHESCA製PTR-03S
	デジタルマイクロスコプ	キーエンス製VHX-1000
	万能型ボンドテスター	DAGE製4000Plus
	密着測定器	QUAD GROF製 ROMULUS
	レーザー(コンフォーカル)顕微鏡	レーザーテック製H-1200
	自動精密切断機	三啓製アイソメット
	接触角計	協和会科学製DM-501
	透過X線装置	DAGE製XD7600
	X線光電子分光装置(XPS)	サーモフィッシャー・サイエンティフィック製 K-Alpha+
液 分 析	イオンクロマトグラフ	サーモフィッシャー・サイエンティフィック製ICS-1500
	液体クロマトグラフ	島津製作所製LC-2010AHT
	分光光度計	日立ハイテクサイエンス製U-2910
	キャピラリー電気泳動	Agilent製G7100A
	ICP発光分光分析装置	日立ハイテクサイエンス製PS3520DD
	自動滴定装置	東亜DKK製AUT701
	pHメーター	東亜DKK製HM-30R
	表面張力計	協和界面科学製CBVP-A3
	パーティクルカウンター	SYSMEX製APSS-200
	電気化学測定装置	北斗電工製HZ5000



ICP 発光分光分析装置



万能型ボンドテスター



透過 X 線装置



高性能集束イオンビーム装置



電界放射型走査電子顕微鏡
(FE-SEM+EDS)

緊急事態対応訓練

当社はステークホルダーの皆様へ危険やご迷惑をお掛けしないように各種の管理活動を展開しておりますが、万一の緊急事態に備えて緩和処置及び是正処置を速やかに行うために定期的な訓練を行っております。



洪水対応訓練



有毒ガス発生時対応訓練



薬品漏洩対応訓練



防火訓練

定期掃除

当社は、社内で定期的に清掃を行い、見た目を綺麗にするだけでなく、害虫の駆除や溝掃除など環境の美化に向けた取り組みを行っています。



窓拭き清掃



側溝掃除

SDGsへの取り組み

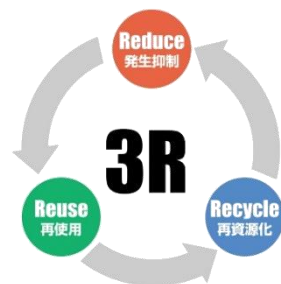
2020 年度より SDGs推進課を設置し、環境マネジメントシステムを活用して SDGsに賛同した中で省エネ設備の導入や、廃棄物の削減・節水など活動を建設的に取り組みます。
この活動を通じて地球規模の課題解決(SDGs17 のゴール)への貢献を目指します。



エネルギー利用の効率化



廃棄物の削減



節 水



教育訓練の実施



2020 年度 経営・品質・環境方針

『きれいイノベーションへの挑戦で、顧客満足の向上！』
～そして、「きれい」と共に、「人」に優しく、「人」を大切に～

2020 年度 経営・品質・環境目標

- ☆プロジェクト活動による目標値の達成
- ☆『きれい』品質でクレーム、ヒューマンエラーの削減
- ☆『きれい』環境で、サステナビリティの視点で気候変動への具体的な対策として、ムダな原材料・エネルギー資源の削減、ムダ・ムラの少ない作業の効率化
- ☆『人に優しく、人を大切に』を具体化し、具現化する

当社は電子部品等の電解・無電解金属表面処理業務、電子部品の印刷及び検査業務、並びに各種機器・装置の設計・製作及び部品加工業務活動において、環境マネジメントシステムを構築し、当社の環境側面に関係して適用される法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守し、業務に関するリスクを具体的にし、環境負荷低減目標を具現化するために技術的・経済的に可能な範囲で継続的な環境改善を推進し、環境に配慮した活動を推進して汚染の予防と危機管理・安全管理に努め、結果として生物多様性保全に向けた取組みを行います。

環境への取組み

- ①原材料使用量の削減(少金化、少 Ni 化等)
 - ②エネルギー資源消費量の削減又は維持(電気、重油、都市ガス、水)
 - ③廃棄物排出量の削減又は維持
 - ④紛争地域の鉱物等の不使用
 - ⑤創意工夫による作業の効率化に関する改善の提案
 - ⑥ムダな仕組みの見直し(二重管理の見直し、仕組みの効率化、簡素化、IT 化)
- (1) 法規制やRoHS指令等の順守及び顧客からの有害物質不使用要求や閾値内管理等への取り組みで化学物質の適正管理を行います。
 - (2) 環境に与える負荷が最小限となるよう業務に関するリスクを具体的にし、環境負荷低減目標を具現化するために危機管理・安全面項目の予防処置および対応方法を定めて実施し、必要な場合は訓練を実施します。
 - (3) 環境改善を実施し維持する為の環境教育を各サイトで全従業員に実施し、本方針の理解と環境に関する意識向上を推進します。
 - (4) 地域周辺への環境保全に配慮し、地域から信頼される事業活動を行ないます。

この方針は、社外の要請があれば必要に応じて公表します。

2019 年 12 月 11 日

原 房 利



yamato 環境マーク

yamato 大和電機工業株式会社

発行 / 2020 年 6 月 25 日
発行部門 / 財務管理本部 品質保証チーム